

循環バスの利用状況等について

(1) 令和6年4月1日から令和6年11月30日

区分	利用者数 (人)	内ICカード 利用者数 (人)	運賃収入 (円)
平日 166日	160,580	16,544	2,627,100
休日 78日	44,761	4,335	760,400
回数券・定期券 QR決済売上(～R6.5) 一日乗車券売上(R6.10～) ICカード決済売上	-	-	4,284,718
合計 244日	205,341	20,879	7,672,218

区分	利用者数 (人/日)	内ICカード 利用者数 (人/日)	有料利用者数 (人/日)
平日平均	967	100	258
休日平均	574	56	153
全体平均	842	86	225

(2) 令和5年4月1日から令和5年11月30日

区分	利用者数 (人)	内ICカード 利用者数 (人)	運賃収入 (円)
平日 165日	165,165	13,751	2,949,420
休日 79日	47,961	3,106	894,880
回数券・定期券 QR決済売上(～R6.9) 一日乗車券売上(R6.10～) ICカード決済売上	-	-	4,102,688
合計 244日	213,126	16,857	7,946,988

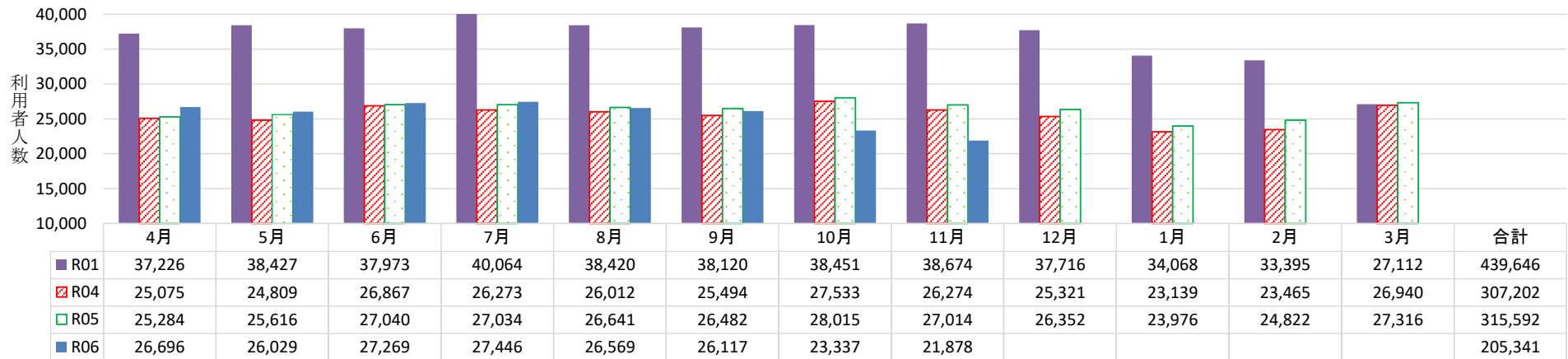
区分	利用者数 (人/日)	内ICカード 利用者数 (人/日)	有料利用者数 (人/日)
平日平均	1,001	83	262
休日平均	607	39	152
全体平均	873	69	227

(3) 差引[(1)-(2)]

区分	利用者数 (人)	内ICカード 利用者数 (人)	運賃収入 (円)
平日 (1日)	△ 4,585	2,793	△ 322,320
休日 (△ 1日)	△ 3,200	1,229	△ 134,480
回数券・定期券 QR決済売上(～R6.5) 一日乗車券売上(R6.10～) ICカード決済売上	-	-	182,030
合計 (0日)	-7,785	4,022	△ 274,770

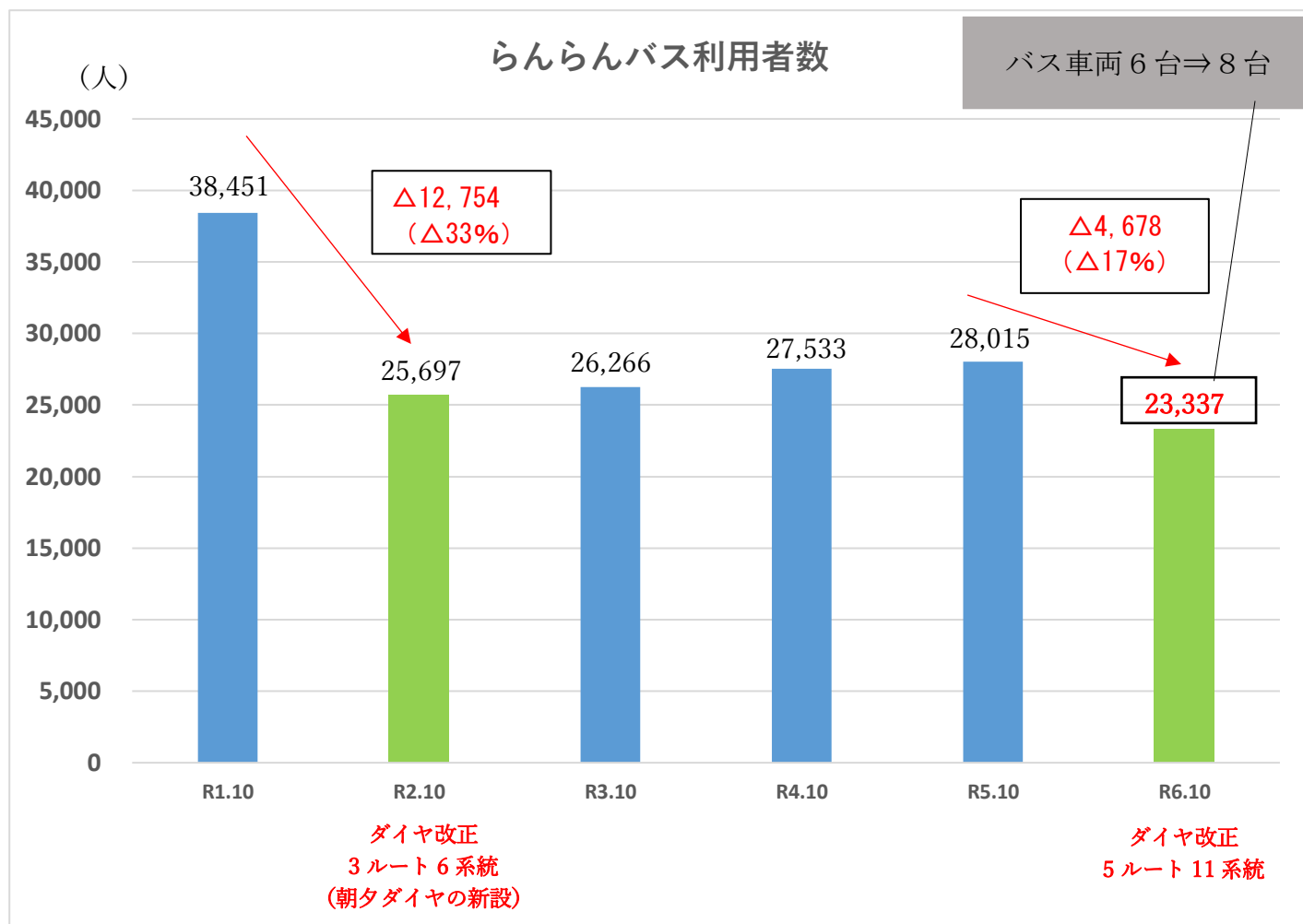
区分	利用者数 (人/日)	内ICカード 利用者数 (人/日)	有料利用者数 (人/日)
平日平均	-34	17	-4
休日平均	-33	17	1
全体平均	-31	17	-2

令和元年度・令和4年度・令和5年度・令和6年度 循環バスの月別利用者数(人) 比較表



【らんらんバスのダイヤ・ルート再編前後の利用者数の比較】

1 年度別 10 月の利用者数



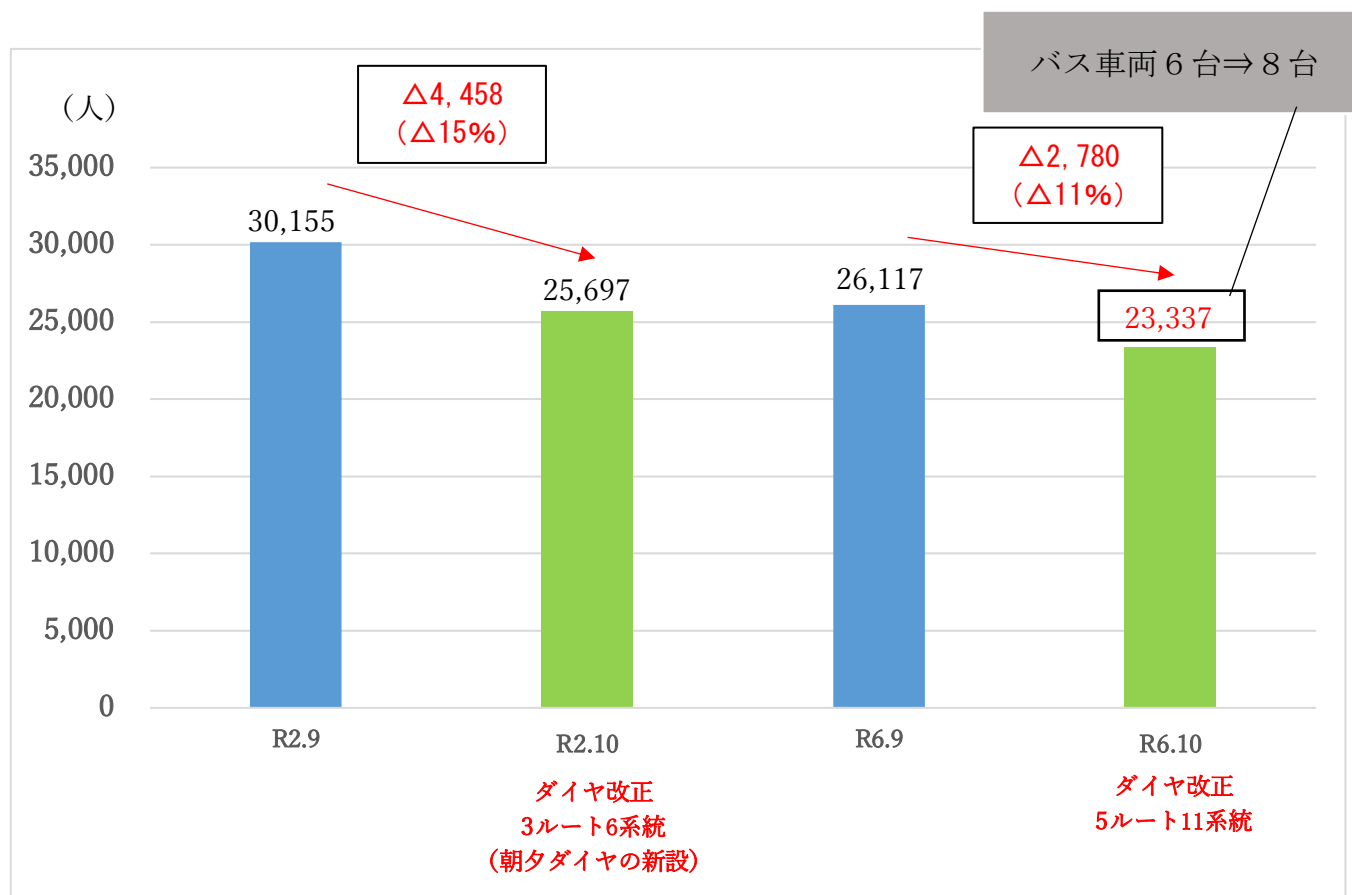
< 考察 >

ダイヤ改正後は、利用者が改正後のダイヤに慣れていない等の理由により、利用者数が減少する傾向にある。

令和 2 年 10 月のダイヤ改正後では、利用者数を前年同月と比較すると、12,754 人減少し、約 33% の減少であったのに対して、令和 6 年 10 月のダイヤ・ルート再編後では、4,678 人減少し、約 17% の減少であった。

令和 2 年 10 月はコロナ禍であったため、単純な比較は難しいが、今回の改正では、ルート時間の短縮やバス車両が 6 台から 8 台に増えたこともあり、減少率としては前回の改正に比べると、16 ポイント減少している。

2 ダイヤ・ルート再編前後の月の利用者数



<考察>

ダイヤ改正後は、利用者が改正後のダイヤに慣れていない等の理由により、利用者数が減少する傾向にある。

令和2年10月のダイヤ改正前後の利用月で比較すると、4,458人減少し、約15%の減少であったのに対して、令和6年10月のダイヤ・ルート再編前後では2,780人減少し、約11%の減少であった。

今回の改正では、ルート時間の短縮やバス車両が6台から8台に増えたこともあり、減少率としては前回の改正に比べると、4ポイント減少している。

3 路線別利用者数

路線	令和6年 9月	路線	令和6年 10月	令和6年 11月
北ルート	9,287人	名和線（北ルート、中ルート）	6,441人	5,686人
		荒尾線（北ルート）	5,232人	4,909人
中ルート	9,308人	富木島線（中ルート）	3,914人	4,023人
南ルート	7,522人	加木屋線（南ルート）	5,041人	4,751人
		横須賀線（南ルート）	2,671人	2,459人
		アクアマリンプラザ行き （新設）	38人	50人
合計	26,117人	合計	23,337人	21,878人

らんらんバスのダイヤ・ルート再編前後の比較

旧北ルート及び旧中ルートの合計	9月	
	18,595人	
名和線、荒尾線、富木島線の合計	10月	11月
	15,587人	14,618人
9月との比較	減3,008人	減3,977人

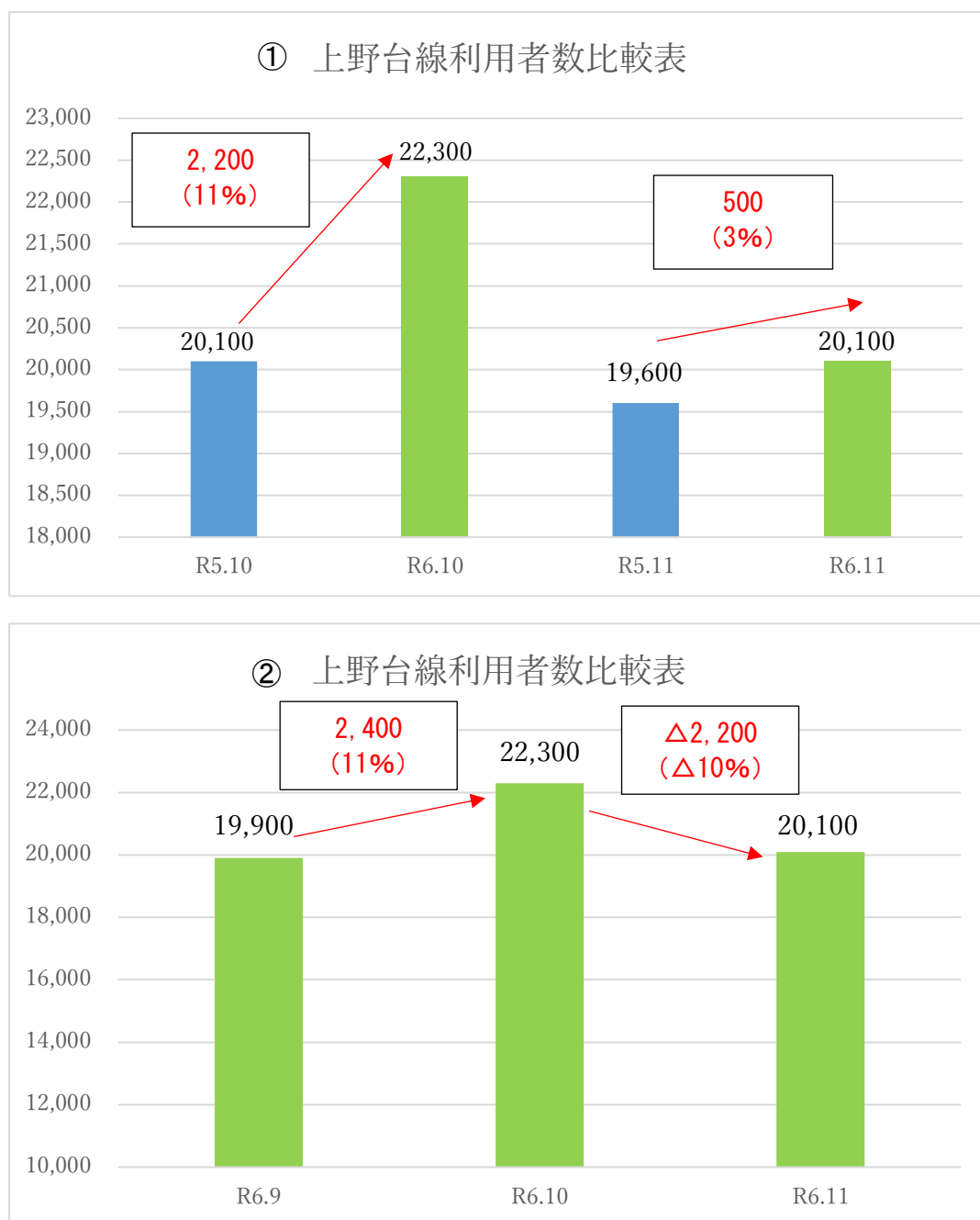
旧南ルート	9月	
	7,522人	
加木屋線、横須賀線の合計	10月	11月
	7,712人	7,210人
9月との比較	増190人	減312人

<考察>

ダイヤ・ルート再編後は、旧北ルート、旧中ルートの利用者数は減少し、旧南ルートの利用者数はほぼ横ばいであった。

富木島線が名和線、荒尾線と比較して利用者数が少なくなっているのは、富木島線は太田川駅、市役所を通らないルートとしたため、利用者数が少なくなっていると考えられる。

4 知多バス 上野台線の利用者数



<考察>

知多乗合株式会社が運行する知多バスの上野台線（名鉄：太田川駅～ＪＲ：共和駅間）の利用者数を比較すると、らんらんバスのダイヤ・ルート再編後は、ダイヤ・ルート再編前と比較すると、前年同月①では、１０月は２，２００人増加（約１１％増加）し、１１月は５００人増加（約３％増加）した。また、同年前月②では、９月と比較して１０月は２，４００人増加（約１２％増加）し、１１月は２００人（約１％増加）した。

らんらんバスの富木島線が太田川駅、市役所を通らないルートとしたため、太田川駅、市役所方面に移動する利用者が知多バスの上野台線を利用することで利用者数が増加したものと考えられる。